

(お知らせ)

令和6年12月10日
中部方面総監部広報室

令和6年度方面隊実動演習（「南海レスキュー2024」）の概要について

中部方面隊は、統合幕僚監部が実施する令和6年度日米共同統合防災訓練及び離島統合防災訓練（「06 T R E X / R I D E X」という。）と合わせて、以下のとおり令和6年度方面隊実動演習（「南海レスキュー2024」）を実施いたします。

1 目 的

南海トラフ巨大地震を見据え、能登半島地震の教訓等を踏まえ、「孤立地域」における「発災直後」の「初動対応」を焦点とした実動訓練を実施して、災害対応能力の向上を図る。

この際、本成果を関係自治体等と共有し、じ後の災害対策に資する。

2 期 間

令和7年1月13日（月）～同年1月17日（金）

3 使用予定地域

中部方面区内各駐屯地、基地及び生地（海域、空域を含む。）

4 担任官

中部方面総監 陸将 こばやし ひろき
小林 弘樹

5 演習部隊等

(1) 自衛隊

ア 演習担任部隊

中部方面隊

イ 協同部隊等

陸上総隊、東部方面隊、航空学校、輸送学校、自衛艦隊、呉地方隊、航空総隊
（中部航空方面隊、航空救難団等）、航空支援集団

(2) 自衛隊以外の参加組織

ア 自治体、企業等の参加

イ 米 軍

ウ その他同志国等の視察

6 本訓練の特色

- 自治体等の参加を得て実施する方面隊規模の震災対応訓練
- 能登半島地震の教訓を踏まえた、孤立地域における発災直後の初動対応を焦点とした実動訓練
- 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う影響により、6年ぶりの実動訓練を実施
- 19府県及び米軍の参加を得て、大規模に実施するのは今回が初めて。
- 南海トラフ地震発生時における中部方面隊の災害対応能力を向上するとともに、本成果を関係自治体等と共有し、じ後の災害対策対応に資するもの。
- 一部の訓練は、統合幕僚監部が実施する06 T R E X / R I D E Xと合わせて、南海レスキュー2024を実施

7 訓練内容

(1) 訓練の焦点

- 発災から72時間の活動
- 孤立地域への対応

(2) 主要な訓練項目

- ① 情報共有：官民の通信基盤等を活用した自衛隊、自治体、関係機関等との情報共有
- ② 人命救助活動：孤立地域に対する警察、消防、自衛隊をはじめとした各関係機関共同による捜索・救助
- ③ 生活・インフラ支援：官民連携による生活支援
- ④ 物資・人員輸送：官民のあらゆる輸送手段（ドローン含む）を活用した物資・人員輸送
- 別紙「南海レスキュー2024実動訓練の概要」参照

(問い合わせ先)

中部方面総監部広報室 酒本、重川（担当）
(072-782-0001 内線2314)